

岡山県総合文化センターニュース

県内美術館所蔵作品紹介

高梁市歴史美術館

あか くる かた み かわりしろ いとおとし
『赤黒片身替白糸威
に まい どう く そく
二枚胴具足』

江戸時代初期

胴高41.0 兜高28.5

岡山県指定重要文化財

江戸時代初期の京都所司代板倉重宗しげむね所用と伝えられる具足である。胴は赤黒片身替というデザインで、縁金には魚々子を施し、小札を白糸で細かくおど威し、赤黒白三色を基調としている。袖、佩だて橋、臍当は茶色の漆で統一されている。兜は蒙古鉢かぶとと呼ばれる鉢に、鉄錆地に銀象嵌で雲龍を描き、鍔にも銀象嵌で御幣と思われるものが描かれている。吹替しも御幣を束ねたような形をしている。前立には南蛮透まへだてのものを使用している。籠手は左右一体で、六角の小型の鉄板に金箔を押し、それを縫い込んでいる。また手甲には板倉家紋かもんの九曜巴が刺繍されている。高梁市内の八重籬神社に伝えられたものである。この具足のほか、籠手、佩橋、采配、腰桶などの付属品がある。



高梁市歴史美術館



〒716-0043 高梁市原田北町1203-1
TEL (0866) 21-0180

高梁市歴史美術館は、生涯学習施設として平成9年度に設置された高梁市文化交流館の2階にあり、高梁市の歴史と美術に関する資料の収集や企画展を行っている。特に、高梁が備中松山と呼ばれていた時代の歴史資料や高梁市出身の芸術家清水比庵の作品を中心とした収蔵品を有し、地域の特色に関連した活動を行っている。

交通 JR伯備線備中高梁駅下車徒歩7分
岡山自動車道賀陽インターより約15分

平成12年度岡山県総合文化センター企画展「現代作家の眼」の紹介

アートウェーブ岡山・巡回展 (コラボレーション ポエム)

展覧会名 「現代作家の眼」アートウェーブ岡山・巡回展 (玉野)

2001 STEP UP コラボレーション・ポエム

会 期 平成13年 1月17日(水)～1月28日(日) 月曜日休館

会 場 玉野市文化会館バウハウス (玉野市築港1-10-10 築港銀座内 旧中国銀行跡)

主 催 「現代作家の眼」展実行委員会
岡山県総合文化センター
岡山県教育委員会
玉野市教育委員会

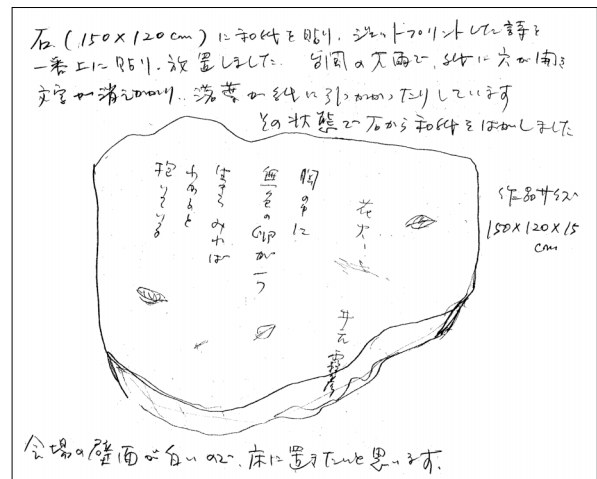
入 場 料 無 料

この展覧会は、県内在住の美術家をジャンル別に選抜し、その作品を巡回展方式で紹介していくもので、今回は美術家と詩人の共同制作(コラボレーション)による作品を展示するコラボレーション・ポエムとして、玉野市文化会館を会場に開催します。

コラボレーションというスタイルは近年盛んに取り入れられてきている表現形式ですが、個性と個性がジャンルを越えてせめぎ合い協力し合うなかで接点を見出して生まれた作品には、従来の個人の個性発露の芸術とは違った世界が展開されていることと思います。

今回は、県内在住の美術家・詩人のペア40組が、それぞれのテーマのもとに制作した作品を出品しますが、作品のスタイルや展示方法はバラエティーに富み、きっと二十一世紀の幕開けにふさわしいエネルギッシュな展覧会になるで

作品のプラン



造形 近藤照恵 詩 井元霧彦

しょう。

なお、この展覧会は、玉野市文化会館で開催した後、高梁市歴史美術館(会期:2月3日(土)～2月17日(土))、勝央町歴史美術館(会期:2月20日(火)～3月4日(日))に巡回します。皆様のご来場をお待ちいたします。



アートウェーブ岡山・クラフト選抜展を終えて

県内のクラフト作家41人の様々なジャンルの作品約90点を一堂に展示したアートウェーブ岡山クラフト選抜展は、岡山県総合文化センター第一展示室で、10月18日から29日まで2週間にわたって開催しましたが、約二千百名の方々にご来場いただき、好評の内に終わりました。ありがとうございました。

おがやま人物往来 ⑤⑧

くろ ずみ むね ただ
黒住宗忠

江戸時代末期になると、民衆の中から新しい宗教が生まれるようになった。岡山県下でも黒住宗忠によって黒住教が、備中国占見村（金光町）の川手文治郎（金光大神）によって金光教が立教された。



黒住宗忠画像 武田五峰筆(部分)
黒住教本部蔵

黒住教の立教は幕末期に創設される民衆宗教のなかではもっとも早い文化11年（1814）のことで、奇しくもこの年は金光大神誕生の年にあたった。

黒住宗忠は安永9年（1780）備前国御野郡上中野村（岡山市上中野）に、今村宮の神官黒住宗繁の三男として生れた。

幼いころから親孝行で知られ、両親の言いつけを守ろうと片足に下駄、片足に草履を履くほど生真面目な子であったと伝えられている。

33歳の時、備前地方をおそった流行病で相次いで両親を失い、心痛の余り、自らも結核に冒され、危篤状態となった。文化11年正月のこと

であった。父母の死を嘆くあまり、自分がこのような身体になったのは大きな親不孝であると気づいた宗忠は、太陽に向かい、心を養い陽気になることが真の親孝行であると悟るようになり、太陽を遥拝することで次第に病状が回復、平癒したという。

この年の冬至の朝、太陽に向かって一心に祈っていた宗忠は太陽が体内に入り、無我の間に太陽と自らの生命が一体化する神秘的な感動を体験し、この体験をもとに独自の信仰を確立した。この体験は「天命直授」と呼ばれ、黒住教の立教はこの時とされている。

宗忠は人間は太陽＝天照大神の分身で、元来神と人は一体であるという。人間は心に迷いが生じると病気や不幸になる。それ故、心を改めて神と一体となれば、自由の境地を得て陽気暮しができる。そのためには、日々、信心・寛容・禁欲・謙虚・勤勉・誠実・感謝に努めなければならない。宗忠の教えは心の持ち方、いわゆる通俗道徳の実践を説くものであったと考えられている。門人には、はじめ岡山藩士が多かったが、次第に庶民層にも浸透、宗忠の晩年には、その数は1000人近くになったといわれる。

嘉永3年（1850）2月25日の、日の出の刻に老衰のため71歳で没した。

宗忠没後はその高弟赤木忠春らによる布教活動が活発におこなわれ、幕末には西日本に30万人の門人を擁するまでに発展したといわれている。

黒住宗忠については、伝記をはじめ多くの著作がある。また、宗忠以後の黒住教の発展についての論文・研究書も多い。

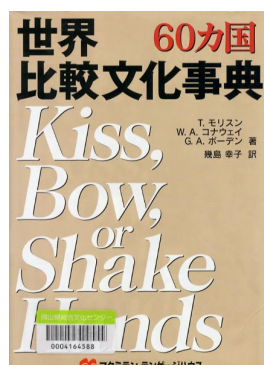
うち当館の参考図書 ⑪⑫

世界比較文化事典 60カ国

（T・モリスン、W・A・コナウェイ、G・A・ボーデン著 幾島 幸子訳 マクミランランゲージハウス 1999）

「政府の規制で店が早く閉まるので、働く女性は買い物に苦勞する。」「ビジネスにはあくまでも生まじめな態度で。仕事中のユーモアは好まれない。」「むやみにほめないこと。」「どんなに親しくなってもファーストネームで呼ぶのは控えたほうがよい。」

これはドイツの章の一部分である。この事典は主要60カ国を採りあげ、歴史、言語など基本的事項のほかに、標準的なモデルとしてその国



の時間感覚、身ぶり言語、服装、商談の仕方、コミュニケーションのとり方などを要点よくわかりやすい形で説明したものである。

外国で恥をかいったり戸惑ったりした経験を持っている人もいるだろう。これから外国へ旅行やビジネスで出かける人にも、また留学生や隣に住む外国人を理解するうえで手助けしてくれるのではないだろうか。

ちなみに、親指と人差し指で輪を作るOKサインは、ロシアではまったく違う意味になるので要注意。

新着郷土資料紹介

岡山戦国合戦史 谷淵陽一著 平和納庫発行
2000 196\$

早島の歴史 4 蘭業史編 早島町史編集委員会編 早島町発行 2000 501\$

ふるさと「平島」の歴史 郷土史を語る会編、発行 2000 85\$

B 29墜落 甲浦村1945年6月29日 シリーズ<岡山空襲の検証> 1 日笠俊男著 吉備人出版発行 2000 171\$

杉栄三郎伝 哲西町名誉町民 小山清著 レタープレス(印刷) 2000 167\$

岡山経済のグローバル化報告書 岡山県国際経済交流協会発行 2000 137\$

ハンディのある人のための岡山県進学ガイドブック 2000 さあ明日に向かって! 大学・専門学校編 福祉ガイドマップおかやまをつく

る会編集 岡山市ボランティアグループ連絡協議会発行 2000 70\$

飛左おばあさんの昔ばなし 岡山県阿哲郡哲西町 [賀島飛左述] 立石憲利監修 「飛左おばあさんの昔ばなし」編集委員会編著 吉備人出版発行 2000 168\$

岡山県自動車整備商工組合創立20周年記念誌 岡山県自動車整備商工組合編、発行 2000 63\$

岡山臨港鉄道50年史 岡山臨港鉄道株式会社編、発行 2000 230\$

哲西町路傍の石仏 哲西町文化財シリーズ 11 哲西町文化財保護委員会編集 哲西町教育委員会発行 2000 199\$

備前の名歌人藤原忠朝 生誕百八十年 池上淳之編、発行 2000 1冊(ページ付なし)

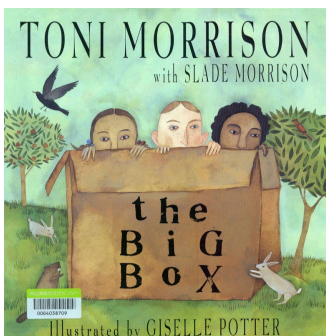
備中足守藩の三歌人 大月史重著 岡山農協印刷(印刷) 2000 122\$

浮世はままよ 岸田吟香ものがたり 小林弘忠著 東洋経済新報社発行 2000 280\$

外国語資料紹介

自由

The big box (by Toni Morrison with Slade Morrison / Illustration by Giselle Potter / Hyperion Books / 1999)



これは、ノーベル文学賞など数々の名誉ある文学賞を受賞しているトニ・モリソンが子供たちのために書き下ろした最初の絵本である。大きな茶色の箱に住む

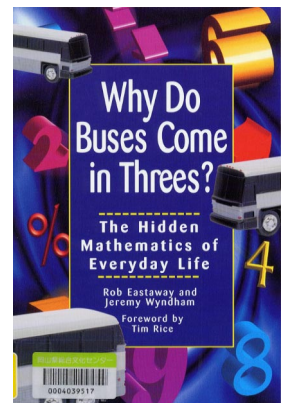
Patty, Mickery とLiza Sue。規則を守らせようと、大人たちはおもちゃやゲーム、お菓子やプレゼントでいっぱいの世界を箱の中に創り出すが、彼らが本当にほしいのは自由なのである。作者は、彼らを通して子供たちに「本当の自由とは何か」を伝えている。

検証

Why do buses come in threes? : The hidden mathematics of everyday life (by Rob Eastaway and Jeremy Wyndham / John Willey & Sons / 1998)

運、偶然、賭け事、確率など、私たちの生活の中には、意外なほど数学がかかっている。

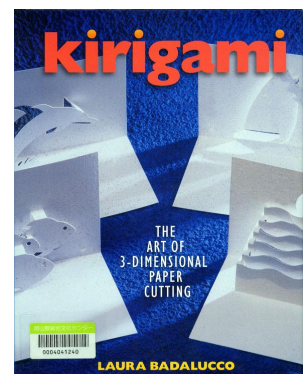
この本の中では、四ツ葉のクローバーがなぜ見つけにくいのか、バスはなぜ3台が一度に来るのか、自由の女神像はどこからがもっともきれいに見えるのか、宝くじはなぜ金曜日を買うのがよいのか、などを興味深く、しかも論理的に、検証している。



切り紙

Kirigami : The art of 3-dimensional paper cutting (by Laura Badalucco / Sterling Publishing Co. / 1999)

平面的な紙を立体的な装飾物へとかえる技法—それが「切り紙」である。しかし、日本の切り紙は、折り紙ほど知られていないのが実状である。この本では、切り紙に必要な材料・用具から、紙の切り方、折り方、着色の仕方が、丁寧に解説されている。おしゃれな飛び出すカードの作り方の例も豊富にそろえているので、実際に作ってみることも可能である。



随想

楠のある図書館

倉敷市立玉島図書館長 原田 安子



楠と言え
ば倉敷市の
市木、我が
図書館には
この大木が
玄関先と、
中庭にどん
と構えてい

る。樹令何年でしょうか。

お隣りが簡易裁判所、ここには天にも届くようなすばらしい楠がある。夏には子供達の蝉取りのターゲットになっている。

我が館は、この中庭の楠を残すために、L字型に建てられている。お隣りの楠と比べると、少し憐れみを感じる。なぜかという、図書館の建設で根を切られ、コンクリートで固められたから。台風が来る度に、もろい枝が折れ、時には大きな枝が落ちていることもあった。いつ折れていつ落ちるかわからないので「市民に迷惑をかけはしないか」と心配した日々もあった。落ちた枝は、樟脳しょうのうの元だから、大変いいにおいがする。そしてこの楠にいろいろな鳥が来て、さえずっている。春には鶯も来る年もある。鳥が木の実を運んで芽が出た木や、苺まではえている。又、よもぎが新芽を出す頃にはよもぎ団子を作って皆で食べるのを楽しみにしている。

この楠のある中庭では、3年生の図書館見学

の子供達や、幼稚園児に大型紙芝居や、パネルシアター等をして喜ばれている。

この場所は、昔、刑務所だったそうで「警察署から罪人が鎖につながれて、橋を渡ってここまで歩いて来てた。」と聞いた。当時お隣りが地方裁判所、私の父が若い頃勤めていた所で、横の溜川では、天神祭の夜、花火があがり、私も見物に来ていた。何か縁を感じる。

我が館の玄関先に、「玉島図書館の歌」のレリーフがある。全国的にも『図書館の歌』のある図書館は珍しいのではないのでしょうか。この歌を作られたのが、初代館長赤沢典雄さんで、現在84才でご健在です。

「君見ずや 浜なでしこを 憩いの窓に わがライブラリー 波青し」この歌から図書館は当時、海のすぐ傍に建てられていた。作家の田辺聖子さんが、この図書館に寄られている。おじさんが玉島在住で、訪ねられた様子が「感傷旅行」の「玉島にて」の中にある。

またいつか「図書館の歌」が歌えるよう、楽譜もそろえた。

新館になって12年目、よく利用していた3人組も中学生になった。作家の小川洋子さんも時々、利用されている、この図書館から第二の小川さんが現われるかもしれない。それを期待しつつ……。

楠も今後の玉島図書館を暖かく見守ってくれることでしょう。

平成12年度

第3回「世界お話の旅」オーストラリア編開催

- 外国語絵本と外国人講師のお話を中心とした、
子供のための国際理解・国際交流 -

日時：11月25日（土）14：00～15：30

場所：岡山県総合文化センター（岡山市天神町）

講師：ジャスティン・ターナー（ノートルダム清心女子大学講師）

内容：絵本の読み聞かせ・歌・ゲーム・オーストラリアの紹介

対象：幼稚園児・小学生とその保護者／一般の参加も歓迎

* 入場無料／事前申し込み不要

* できるだけ公共の交通機関のご利用を

* 問い合わせ先

岡山県総合文化センター奉仕課国際資料係

TEL：（086）224 - 1286



図書館の臨時閉館のお知らせ

平成12年12月11日（月）から12月27日（水）まで、情報システム更新ならびに施設の改善のため臨時閉館いたします。

なお、引き続き平成12年12月28日～平成13年1月4日まで年末年始閉館日となります。

皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の上ご協力くださるようお願いいたします。

平成12・(13)年

12・1月の催物案内

岡山県総合文化センター

ギャラリー（開場時間 9:00～17:00）

期間 (週)	第1展示室		第2展示室	
	大室	小室	大室	小室
11/28～ 12/3	第7回生徒作品・表現活動発表会 写真100点、絵画300点、書100点、社会30点、立体50点、交流作品30点 岡山市中学校文化連盟 入場無料		第37回墨象会 書100点 墨象会 入場無料	
12/5～ 12/10	第26回抱象会 書道80点 抱象会 入場無料	春陽会瀬戸内作家展 油絵、版画50点 春陽会岡山 入場無料	第31回莞歌社岡山支部書道展 書90点 莞歌社岡山支部 入場無料	新紀展 油絵30点 新紀会 入場無料
12/12～ 12/17	岡山県女流書道展 書140点 岡山県女流書道協会 入場無料	岡山市文化連盟連合展 油絵、水彩画、水墨画、書道、他 岡山市文化連盟連合会 入場無料	第36回岡山県書道協会展 書道60点 岡山県書道協会 入場無料	第6回いきるかたち展 立体造形、彫塑、油絵、版画、計30点 いきるかたち展実行委員会 入場無料
12/19～ 12/24	第13回国際架橋書展（巡回展） 書道600点 国際架橋書会 入場無料		第5回工友美術展 絵画30点、彫刻5点、工芸10点、写真20点、他 工友美術会 入場無料	
1/9～ 1/14	第33回春秋会書道展 書道（主として漢字・古典）120点 春陽会 入場無料		第31回ギャルド・ファイブ展 油絵30点、インスタレーション1点 ギャルド・ファイブ 入場無料	
1/16～ 1/21	2000黄土舎展 油絵36点 黄土舎 一般500円・学生 （～中生）300円・小人200円	彩雲会書道展 書道100点 彩雲書道会 入場無料	国画会岡山作家展 絵画18点、彫刻4点、工芸6点、版画2点 国画会岡山グループ 入場無料	第6回ニコールクラブ岡山支部展 写真60点 ニコールクラブ岡山支部 入場無料
1/23～ 1/28	第18回岡山県現代俳句の書展 書150点 岡山県俳句書道連盟 入場無料		第45回岡山市教職員美術展 洋画、日本画、版画、写真、工芸、計100点 岡山市教職員美術展運営委員会 入場無料	第38回県下高等学校書道教師による書道展 書40点 岡山県高等学校教育研究会書道部会 入場無料
1/30～ 2/4	有鄰書道会 林陽舟一門展 書（かな）320点 有鄰書道会 入場無料		第17回岡山県工業高校デザイン展 デザイン（岡山工高デザイン科、高梁工高デザイン科、インテリア科、東岡山工高設備システム科）400点 岡山県高等学校工業教育協会デザイン系部会 入場無料	

ホール（固定席282席）

日曜)	催物	時間	料金	主催者
12/1(金)	ホール使用抽選会 (対象期間：H13年6月～8月)	9:00～		岡山県総合文化センター 総務課
12/2(土) 12/3(日)	演劇発表会	9:30～16:30	無料	岡山県中学校文化連盟
12/7(木)	劇団はぐるま座 「夏の約束」岡山公演	18:30～	一般:3000円 小中高生:1000円	劇団はぐるま座
12/9(土) 12/10(日)	第316回文化センター土曜劇場 (ノートルダム清心女子大学日本語演劇部公演) ラ・ヴィータ	17:00～19:00 14:00～16:00	前:400円 当:500円 小学生以下 ・会員無料	岡山県総合文化センター
12/15(金)	女声合唱団 ぼこあぼこクリスマス会	10:30～11:30	無料	女声合唱団 ぼこあぼこ
12/20(水)	英語演劇	18:00～19:00	無料	岡山大学英語研究部
12/23(土)	演奏会	13:00～16:00	500円	岡大ロック&就実おもちゃ箱
12/24(日)	コーラス発表会	10:00～16:30	無料	歌の輪(3グループ)
12/27(水)	関西高校演劇部定期公演	14:00～19:00	無料	関西高校演劇部
1/13(土)	落語公演「第89回ぼっこ寄席」	12:00～16:00	無料	岡山大学落語研究会
1/14(日)	第22回人形劇フェスティバル	10:00～12:00 13:00～15:00	未定	第22回人形劇フェスティバル実行委員会
1/21(日)	第32回就実女子大学・短期大学グリークラブ定期演奏会	14:30～16:30	500円	就実女子大学・短期大学グリークラブ
1/27(土) 1/28(日)	第317回文化センター土曜劇場 (劇団ひびき公演) 雪が目にしみる	18:30～ 14:00～	前:1500円 当:1800円 会員無料	岡山県総合文化センター

抽選会は、12/1(6～8月)・3/1(9～11月)・6/1(12～2月)・9/1(3～5月)です。

ただし、使用目的は、ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等、営利目的以外の催しに限ります。

会員………文化センター友の会及び文化振興会会員

平成12年度岡山県総合文化センター友の会会員を募集中。(詳細は文化センター総務課まで)

催物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。